

第1回山口県ドッジビー大会2005 大会ルール

基本的には2001年5月制定、2004年4月改定のドッジビー公式ルールに則って行いますが、以下に記した部分は、山口県大会の特別ルールとします。

【1】用具

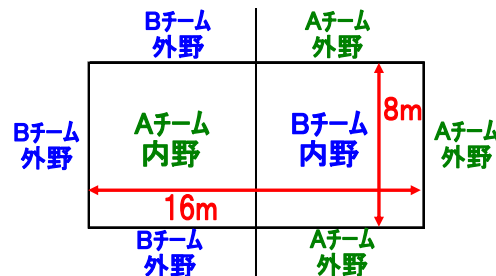
(2) ユニフォーム

ユニフォームをそろえる場合は、全員が違う番号となる背番号をつけてください。

【2】コート

(3) コートの大きさ

一辺の長さ8mの正方形を2つつなげたものとしてします。



【3】チーム

(5) 1チームの人数

大会における1チームの登録人数は10名以上15名以内とし、キャプテンを1名決めます。

(6) 1ゲームのプレイヤー人数

1ゲームに出場するプレイヤーは1チーム10名とし、セット途中のプレイヤー交代はできません。ただし11名以上を登録したチームで、けがやその他の理由により、プレー続行不可能になった場合は、交代のプレイヤーを出場させることができます。また、セットごとにプレイヤーを入れ替えることができます。

【4】ゲーム時間

(7) 1ゲームの時間は5分間3セットとします。1セット終了毎にコートチェンジを行い、新たに開始します。

【5】勝敗の決定

(8) 時間内に相手の内野に1人もプレイヤーが残っていない状態にするか、または、セット時間経過後、より多くのプレイヤーが内野に残っているチームをセットの勝者とします。同数の場合は、引き分けとします。

2セット先にとったチームをそのゲームの勝者とします。3セット終了時に2セットとったチームがない場合にはとったセット数の多いチームを勝者とします。とったセット数が同じ場合には、合計内野人数が多いチームを勝者とします。合計内野人数も同じ場合は、引き分けとします。

【10】判定

(37) 基本的に審判を置かず、セルフジャッジ方式¹で行います。

(38) 判定に困った時は、各コートにいるオブザーバー²に相談します。相談できるのは、各チームのキャプテンのみとします。

(39) オブザーバーの決定には必ず従うこととします。

(40) 試合終了後の異議申し立ては一切できません。

(2005/10版)

1 セルフジャッジとは

ファウルやアウトを選手自身が自分で判断することです。自分に不利な判定をしなければならない場合もありますが、スポーツを愛好する選手としては、最低限のルールであり、マナーでもあります。

勝敗を優先する事で、スポーツをする楽しさや、マナー等を忘れる事がないようにしたいものです。

2 オブザーバーとは

審判とは異なり、積極的な判定(審判)は行いませんが、キャプテンから判断を求められたときには助言を行います。ただしオブザーバーの助言(判定)は最終決定となります。